

上五島地区漁業士会における食育・魚食普及の取り組み

1. 組織の概要

漁業士とは、地域漁業の中核的推進者となることが見込まれる者を青年漁業士、漁業技術、経営能力が優れており、かつ、漁村青少年の指導に熱意を有する者を指導漁業士として、知事から認定を受けている漁業者です。県内には、これらの漁業士で組織された漁業士会が、長崎、県南、県北、吉岐、対馬、下五島、上五島の7地区にあります。

上五島地区漁業士会は、新上五島町内の主に定置網漁業、魚類養殖業、曳縄漁業等、幅広い漁業種類や世代の漁業士22名で組織され、地域水産業の振興・発展、漁村青少年の育成・指導、自己研鑽等を目的に様々な活動を行っています。

2. 活動内容

近年、若者の魚離れについてよく言われていますが、当漁業士会では、活動の一環として、食育・魚食普及と水産業への親しみをもちてもらうことを目的に、毎年、新上五島町内の小・中学生、高校生等を対象に「食育お魚料理教室」を開催し、併せて長崎県や地域漁業の紹介等を行っています。

平成24年度は「食育お魚料理教室」を計9回(詳細は下記のとおり)開催しており、奈良尾中学校、中五島高校、希望の灯学園では奈良尾町漁協女性部に協力を得て行っています。



漁業士による実演



漁業士による指導

料理教室は、地元で水揚げされた水産物を活用し、まず、漁業士が魚のさばき方の実演を行った後、子供たちが漁業士の指導を受けながら魚を3枚におろす実習を行います。

新上五島町は水産業が盛んであり、子供たちは魚になじみがあると思いきや、魚をさばくことは初めてという子供も多く、最初はおぼつかない手つきで見ているこちらは心配しましたが、次第に慣れていき、最後は上手にできるようになり、自分でさばいた魚の料理を美味しそうに食べていました。

終了後の感想では「実際に魚をさばいて見ると難しかったが、慣れてくると段々楽しくなり、最終的には完璧にマスターしました。」「料理の大変さや楽しさを改めて知ることができました。」「五島を離れても、五島の魚の美味しさを伝えて行きたい。」など魚の美味しさや料理することの楽しさを感じてもらった内容が多く聞かれました。

今後とも当漁業士会ではこの取り組みを継続していき、食育・魚食普及、ひいては水産業の振興に微力ながら貢献していきたいと思っています。

開催日	開催場所	参加者数
24.10.18	今里小学校	28名(3~6年生)
24.10.30	北魚目中学校	20名(2年生)
24.10.31	魚目中学校	26名(2年生)
24.11.8	奈良尾中学校	13名(1年生)
24.11.14	若松中学校	26名(1年生)
24.12.5	中五島高校	32名(2年生)
24.12.6	中五島高校	21名(1年生)
25.1.17	上五島高校	38名(1年生)
25.2.24	希望の灯学園	28名(児童・生徒)

平成24年度活動実績